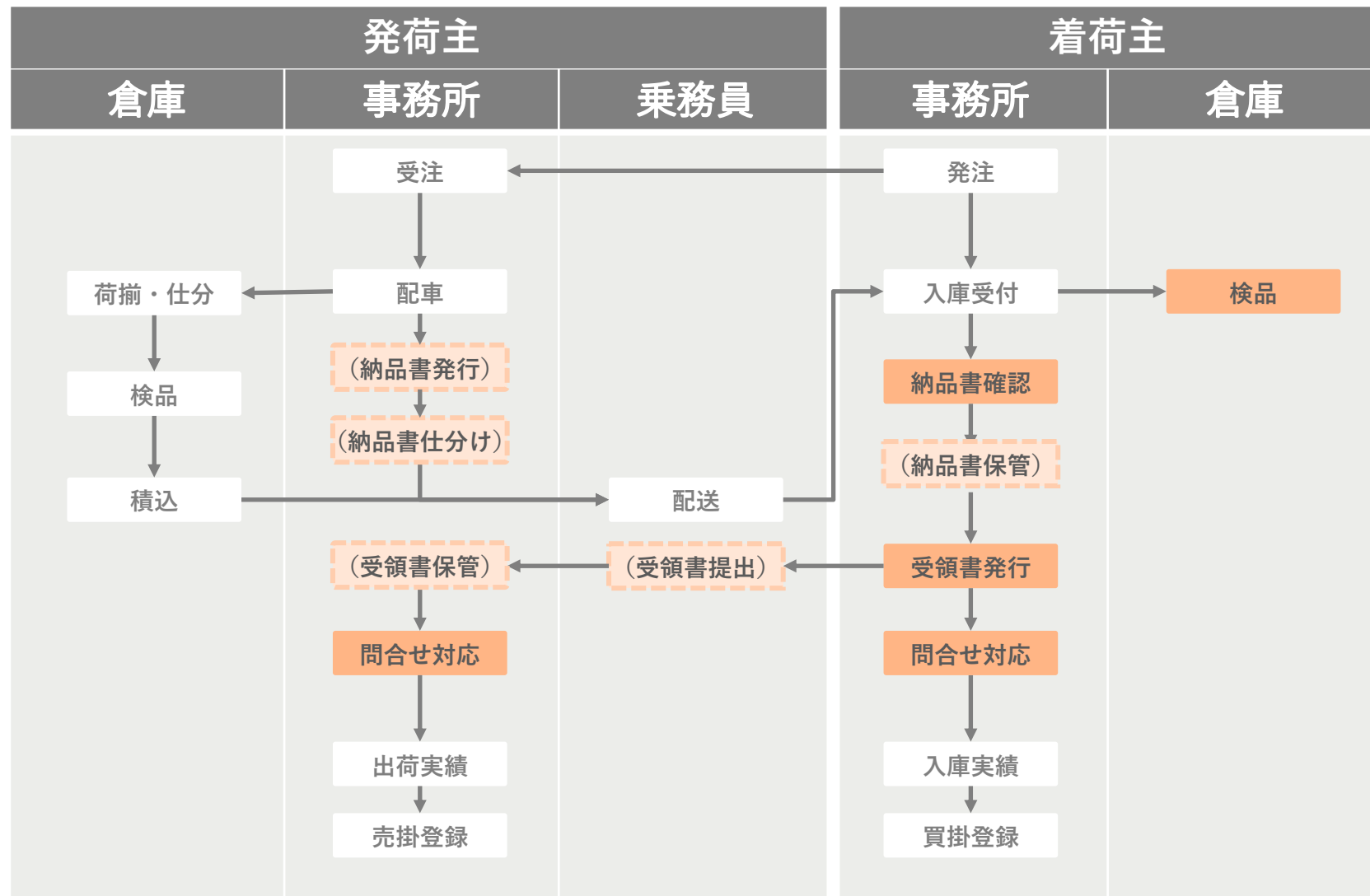


伝票電子化サービス

02

■ 発荷主、着荷主について、伝票電子化サービスを以下の場面で活用いただけます。



凡例

納品書発行 .. 電子伝票を活用する場面

(受領書提出) .. 電子伝票で業務がなくなる場面

11

- 「PC または iPad」 「納品伝票のPDFファイル」 「インターネット接続環境」 を準備。

発荷主

着荷主

PC または iPad

- インターネット接続が可能なもの

納品伝票のPDFファイル

- 発伝システムから出力したもの

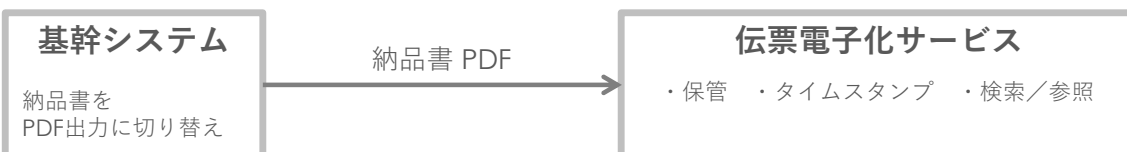
必要に応じて、貴社内の情報システム部門に当社クラウドサービスの申請を実施ください。

■ 基幹システムの改修をせず、現状の伝票書式そのまま電子化を実現。

書式はそのまま
伝票データ化



- 現行の伝票をそのまま表示、電子保管。
- 様々な伝票PDFをデータ化 (CSV出力に対応)。
- 基幹システムの改修が不要 (ノーコード、ローコード)。



改ざん防止

保存年限管理・検索



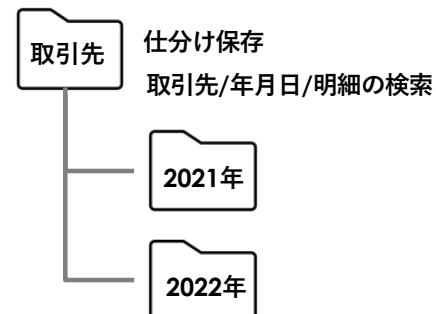
伝票

+



タイムスタンプ

メタデータ付与

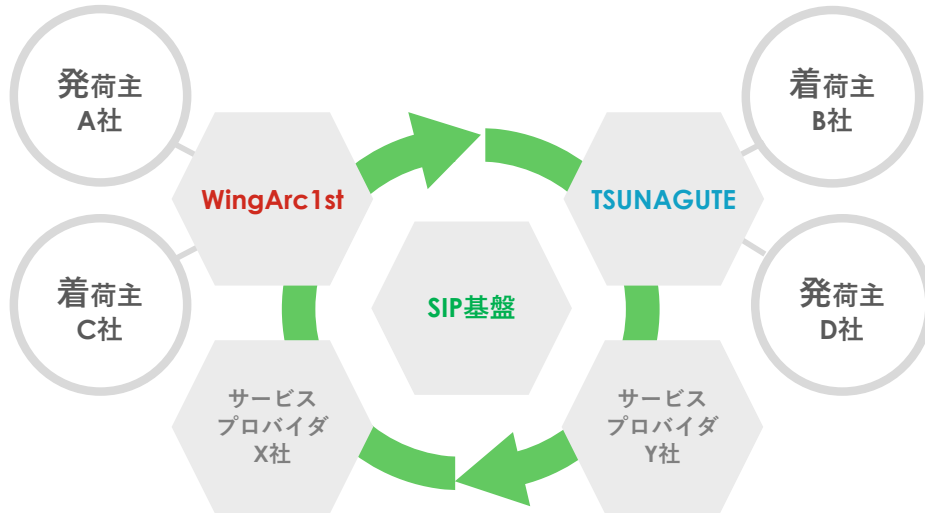


電子帳簿保存法対応

※2 配送件数 300件/日の拠点の場合、伝票の発行、仕分けにかかる3時間/日程度を削減。当社による試算。

■ 納品伝票エコシステムによって、伝票電子化サービスの使い分け問題を解消。

納品伝票エコシステム



どのサービスプロバイダを選んでも
納品伝票データをやり取りできる仕組み

検討体制
SIPスマート物流サービス（内閣府、経済産業省、国土交通省）
流通経済研究所、富士通、WingArc1st、TSUNAGUTE

国土交通省 物流施策大綱（抜粋）

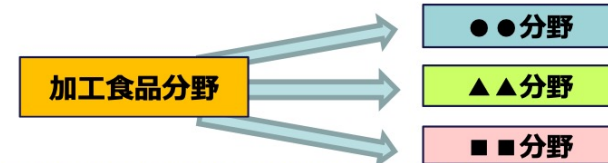
(3)物流標準化の取組の加速

加工食品分野における標準化推進体制の整備と
周辺分野への展開、業種ごとの物流の標準化の推進 等

■モノ・データ・業務プロセス等の標準化の推進



■加工食品分野をプロトタイプとした業種分野ごとの標準化の推進



<主なKPI>

・業種分野別の物流標準化に関するアクションプラン・ガイドライン等策定数

【3件（2021年度～2025年度）】

物流DXや物流標準化の推進によるサプライチェーン全体の徹底した最適化（簡素で滑らかな物流）

出所：<https://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/content/001409565.pdf>

■ 基幹システム、伝票レイアウト、運用を変更する負荷を軽減して導入のハードルを下げます。

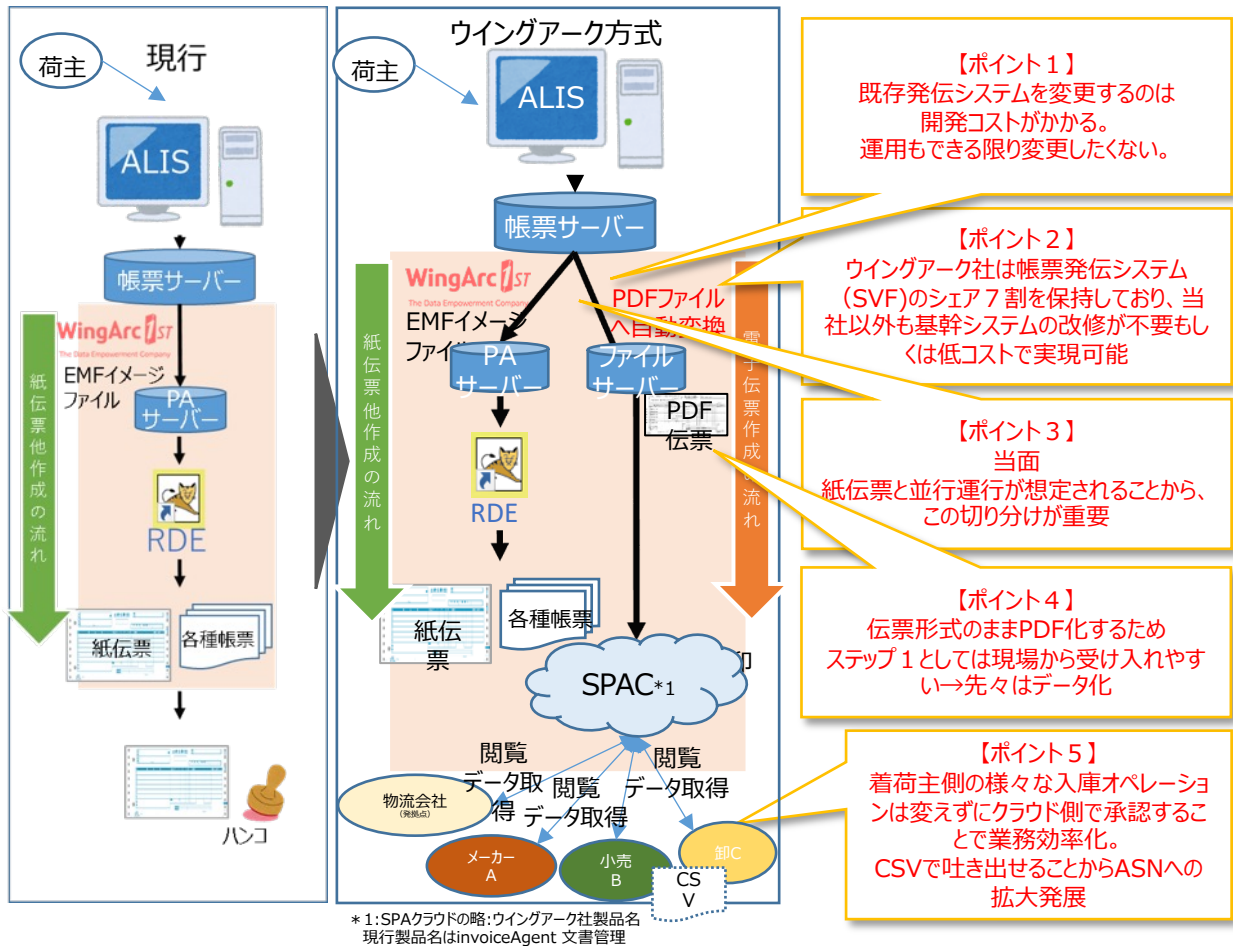
運用例（１）

- ・ 基幹システムから伝票を出力する仕組みはそのまま
- ・ 伝票フォーマットの変更なし
- ・ 運用に合わせて伝票リストの表示項目、順序を変更

運用例（２）

- ・ Excel による伝票出力の既存の運用を活用
- ・ 伝票フォーマットはSIP標準をもとに項目を整理
- ・ 検査書類など、関連資料の保管を検証

ウイングアーク方式の特徴（お客様資料より）



■ 伝票電子化サービスは、WingArc1st「invoiceAgent 文書管理」を活用したクラウドサービスです。

伝票電子化サービス名称：DocketX（ドケットエックス）

WingArc1st

製品 パートナー ユーザー 企業情報 IR

invoiceAgent

外部サービス連携 価格 動作環境 サポート 事例 セミナー BD事業紹介

他のラインナップを見る

無償
トライアル

お問い合わせ

帳票DXで、ビジネスをもっと前へ。

invoiceAgent

資料ダウンロードはこちら

※ 2022年6月より invoiceAgentはリブランディングをしました（詳細は[こちら](#)）

<https://www.wingarc.com/product/ia/index.html>